

あとがき

本年度も研究会の会員の研究成果報告は学長裁量経費の 1 プロジェクトとして予算請求をしたが、単独では認められませんでした。そこで、学長裁量経費に申請した各プロジェクトで、「山岳科学総合研究プロジェクト」にとりこまれた 4 部門のうち、第 2、第 3 部門で研究費を出し合って、報告書を出すことを企画した。しかし、「山岳科学総合研究所」が、この学長裁量経費の大型プロジェクトそのものの成果として動き出し、この 4 部門の代表が「山岳科学総合研究所」の運営委員会をつくり、報告書（英文や邦文）を出すことになった。その邦文の準備成果として「環境科学年報」を取り込むなら、発展的解消として対応できるとも考えたが、一線が画された。

そこで、この「環境科学研究会」の報告としては研究会員の自己努力に頼って、出前的に成果報告書を出そうと考えた。ところで、昨年報告書の担当をしていただいた戸田氏と相談したところ、「諏訪天竜プロジェクト」を主体として発展した「科研費」グループで、昨年と同様に報告書の経費を担っていただけることになりました。何度も消えそうになり、建て直してきたこの研究会、皆様のおかげで息をつなぐことが出来ました。「会誌 25 号」をお手元にお届けします。

4 月 5 日（土）10：30～信大農学部 30 番教室にて、本年度の研究発表会を行います。会員の本年度の研究成果の発表と、会の今後の運営等について話し合う予定です。ここに予定プログラムを掲載します。

信大 農 吉田利男
2003.3.31.